

# 乳児の寝心地 こだわり

1950年に創業した寝具メーカー。元々は大手の受託加工などを事業の柱としていたが、独自に開発した乳児用の寝具は、グッドデザイン賞にも輝いた。

父の死去で30歳代半ばで会社を継いだ時、大手の受託に

頼る形態を変えたかった。

かつて乳児用の敷布団は、うつぶせ寝による窒息を防ぐためにかたく厚い綿布団が主流だったが、家庭用洗濯機に入らず、汚れても洗うことが難しかった。



そこで「赤ちゃんを清潔な

布団で寝かせたいという需要はあるはず」と思い立った。98年頃から試行錯誤を重ね、薄くても弾力があり、洗濯機で洗える敷布団が完成。

品質管理の国際規格「ISO 9001」も取得した。

乳児用の寝具は一般に掛け布団、敷布団やカバーがセットで販売される。カバーデザインも専門の社員を採用し、オリジナルを製作。さらに今年からは専務で長男の匠さん(38)の発案で、県内の伝統的な綿や麻の織物を使い、甲斐流忍者など滋賀らしいデザインの布製品ブランドを始めた。

「人間にとって睡眠は大事。特に赤ちゃんは自分で寝心地を訴えられないのでこだわりたい」という思いと同時に、「滋賀の企業として地域産業にも貢献していきたい」。

ニシザキ社長

西崎 英治さん 64 滋賀県多賀町

関西

Biz パーソン